

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成11年3月8日

第49報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella stelligera</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	1300		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	170		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	26		
(珪) <i>Stephanodiscus</i> sp.	93		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	9		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	35		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	30		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	200		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	60		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	16		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	350	14.1	13.0
(珪) 珪藻綱	1773	71.5	71.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	1.2	1.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	8.1	4.7
(み) みどり虫藻綱	10	0.4	0.1
(緑) 緑藻綱	116	4.7	9.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2479	総体積	7.17E+05
種類数	21	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は *が第1優占種、 *が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
纖毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	480

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	320

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Cyclotella glomerata

(ヒメマルケイソウ)

珪藻綱



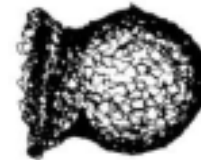
細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 μm と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種

Codonella cratera

(スナカラムシ)

纖毛虫類



壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント:植物プランクトンは、珪藻のヒメマルケイソウが最も多かった。動物プランクトンは、フムシ類のハネウデフムシとナガマルドロフムシが180個体/lで最も多く、次いで纖毛虫類のスナカラムシが160個体/lと多かった。